

目次	第30回評議員会	1 頁	神奈川県歯科保健・医療推進研究会(勉強会)...	3 頁
	島村大君と未来の社会保障を考える会	2 頁	「一灯」・お知らせ	4 頁

平成25年度決算等を可決する

第30回評議員会

平成26年6月19日(木)午後6時から県歯会館地階大会議室において神奈川県歯科医師連盟第30回評議員会を開催した。



挨拶する磯本桂太郎県議

開会に先立ち、神奈川県歯及び口腔に関する歯科保健条例制定に中心的な役割を担っていただいた8020議員連盟事務局長・磯本桂太郎県議と議員連盟副幹事長・小川久仁子県議から翌日(20日)に開かれる神奈川県歯科保健・医療推進研究会開催のお知らせと挨拶が行われた。

点呼に続き高橋副会長から開会が述べられ、議事録署名人は議長指名により妹尾明寛君(西)、皆藤訓男君(相模原)が選出された。

続いて富田会長は挨拶の中で日歯アンケートにより高齢者ほど歯科治療の重要性を理解している結果が出たことや、医療における混合診療の問題を歯科にとって歩み寄れる向きがあれば考えていく必要もあろうと述べた。また、4月の保険点数改正の担保というべき医療基金から歯科に4億4000万円の還元がなされる点については職域代表議員の努力でより良い方向に進めていかねばならないと強調された。

高橋県歯会長挨拶では日歯代議員会で欠席の高橋会長に代わり関専務理事から、医療が国策である以上政治は必要不可欠であるとの考えから本会と連盟は車の両輪として密なる関係を続けていくことが重要との旨の挨拶がなされた。

注)今年度より評議員会の呼称を延べ回数とすることになりました。

続いて島村大参議院議員より国政報告を行った後、本連盟より小泉常務理事から庶務及び事業報告、檀上常務理事より組織対策委員会報告、宮坂常務理事から情報調査委員会報告がおこなわれた。3月の日歯連盟評議員会報告は徳永副会長からあり、その他として鶴岡理事長より自民党入党のお願いと来年の統一地方選挙の件、また翌日(20日)に予定されている「かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟 神奈川県歯科保健・医療推進研究会」について報告があった。ここで議長が今までの次第に対する質問を求め、活発な意見交換や本連盟に対する要望が多数出された。

引き続き花村議長から川田副議長に議事進行が代わり、上程された議案審議に移り、第1号議案、第2号議案(下記参照)を檀上常務理事が説明した後、増田監事の監査報告がありそれぞれ挙手多数をもって2議案とも可決承認された。第3号議案(下記参照)については富田会長から上程理由説明が行われ、腹案として持っておられた選挙管理委員会委員の名簿(案)について採決し挙手多数をもって可決承認された。

閉会は森副会長より述べられ、2時間余の評議員会を閉じた。



挙手多数にて可決承認

- 第1号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計 平成25年度収入支出決算に関する件
- 第2号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成25年度貸借対照表、財産目録に関する件
- 第3号議案 神奈川県歯科医師連盟選挙管理委員会委員の委嘱に関する件

島村大君と未来の社会保障を考える会 国政報告

島村大参議院議員が昨年の当選後初めて、地元横浜での国政報告会を歯科医師会会員対象に行った。会場に入れきれないほど多くの来場者が押し寄せ、追加の椅子も用意された。



笑顔で話す島村大参議院議員

平成26年9月18日(木)18時より、「参議院議員 島村大君と未来の社会保障を考える会」が

ロイヤルホールヨコハマにて開催された。満員の会場でざわつく中、伊勢原市議会議員・歯科医師の萩原てつや先生の司会により始まり、開会の言葉を東京歯科大学島村大後援会・大山萬夫会長が発し開会された。大山先生は、オールジャパンで島村君を応援してほしいと述べ、応援挨拶として、東京歯科大学・井出吉信学長が登壇し、学生時代のエピソードを交え支援を依頼した。続いて神奈川県議会・向笠茂幸議長が挨拶し、将来の神奈川を背負っていける人物であるので健康に留意し活動していただきたいと述べ、小川久仁子副議長も同時に紹介された。次に同じ参議院で活躍されている三原じゅん子議員が挨拶し、島村先生は厚生労働委員会でも大臣に対して鋭く発言して頼もしいと賞賛した。

島村大参議院議員の国政報告で、「早いもので1年が過ぎたが、私の原点はこの歯科界なので恩返しの意味もあり最初にこの会合を開いた。私の当選でお世話になった神奈川自民党への恩は選挙応援でお返ししたい。186回通常国会において経済関連を中心に81本の法案を出し、79本が通過成立した。これはねじれ国会が解消した結果だ。現場に足を運び思ったことは、地域活性について拠点を決めて再開発を進める

べき。消費税アップに関し、社会保障を持続可能な制度にするにはどうすればよいか考えたい。また健康寿命に対して歯科界が何をできるか、歯科からの提言を歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会、歯科業者、大学等、オール歯科界としてしっかり出してほしい。医療に政治は関係ないじゃないかとよく言われるが、政治があってこそ国民皆保険、医療制度が決まるのだから、医療・介護制度が、より一層国民のためになると認識していただき、応援をいただきたい。又、企業において歯科検診が義務化されていない、健康寿命の延伸と生産性の向上の為にぜひ企業検診に歯科検診を取り入れていきたい。」と述べた。

最後に東京歯科大学同窓会・矢崎秀昭会長が閉会の言葉で締めくくり、懇談会へと移った。

懇親会に移り実行委員長である富田篤連盟会長は、日本歯科医師会、日本歯科医師連盟の役員



本会富田会長の挨拶

の先生方が20名も遠くからご参集いただき、職域代表ではなく神奈川県からの選出にも拘らず全国から応援いただき感謝いたします。島村先生の当選でお世話になった県議・市議の先生には来年の統一地方選挙で必ずお手伝いしたいと思っている。彼は、健康寿命一の県にするべく頑張っている



日歯大久保会長の応援演説

るので応援してほしい、と述べた。

日本歯科医師会・大久保満男会長は、

「島村先生にとって113万余の重い声を背負って歩くことが最初に課せられた使命だと思う。その声は坂を登るのを応援している声である。人知れず努力積み重ねて大きな政治家になるためのトレーニングをしているところだ。ご出席の皆様のお力なくてはなしえない。」

日本歯科医師連盟・高木幹正会長は、「島村先生は人柄がよく、気配りができる人である。」



日歯連盟高木会長の挨拶

街づくりに社会保障も組み込んでもらいたい。」

神奈川県歯科医師会・高橋紀樹会長は、「医療の評価軸が健康寿命にシフトした。医科は平均寿命、歯科は健康寿命を延ばす医療という認識のもと、保健福祉の中に歯科を明確に位置付けていただくことを希望する。」と述べた。

島村大参議院議員は各来賓のご挨拶に対し深々と頭を下げ、お礼を述べた。

日本歯科商工協会会長・山中通三氏による乾杯のご発声の後、それぞれに料理やお酒を口にしていた。最後に横浜市歯科医師会・杉山紀子会長、横浜市歯科医師連盟・高江洲尚理事長が中締め挨拶をし、お開きになった。

かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟

神奈川県歯科保健・医療推進研究会（勉強会）開催

平成26年6月20日(金) 午後6時～9時

平成26年6月20日（金）横浜市中区にあるロイヤルホールヨコハマにおいて、かながわ自民党歯科保健・医療推進連盟（以下議員連盟という）40名と神奈川県歯科医師会及び歯科医師連盟合同で30名の勉強会が行われた。

司会は議員連盟事務長である原聡祐氏が行い、挨拶は議員連盟会長である中村省司県議が行い、来賓挨拶として神奈川県保健福祉局長の中村正信氏が行った。



議員連盟会長・中村省司県議

勉強会に入り、議員連盟幹事長の佐藤光県議より趣旨説明として、「8020議連と神奈川県

歯科医師会との関係について」の説明があり、続いて学術講演が行われた。

学術講演では「歯科疾患と全身の健康との関係について」として鶴見大学歯学部臨床教授の武内博朗先生は「発症を待ち受ける医療から、

発症させない医療への転換」として講演され、神奈川県歯科医師会常務理事の鴨志田義功先生は「県歯科医師会の口腔保健法の取り組み」として講演を行い、歯の重要性を訴えた。

その後、懇親会に入り司会が議員連盟事務局長の磯本桂太郎県議と副幹事長の小川久仁子県議に代わり、来賓挨拶として神奈川県副知事の吉川伸治氏より丁寧なお言葉を頂いた。

各テーブルにはそれぞれの議員が配置され、和やかな中で楽しく活発な意見交換ができ有意義な懇談会となった。

最後に神奈川県歯科医師会副会長の浅川章光先生は今回の勉強会は非常に有意義であり、成功裏のうちに終わったことを伝えて閉会



講演する武内博朗臨床教授

の話とし、今回の勉強会を閉じた。

一 灯

御嶽山の噴火、天候も不順で、相次ぐ台風、首都圏直下地震を想像すると恐ろしい。天災ばかりではない、シリアへの空爆を、米英空軍が開始。ロシアのプーチン大統領来日も中止、拉致問題の中間報告もなし…外交も難しいものである。政府は内閣改造後、初めての経済財政諮問会議の冒頭、安倍首相は「社会保障支出を含め、聖域を設けず、歳出改革に取り込む」とし、「経済再生と両立する財政健全化が重要」と語った。今のままの枠の中での保険診療報酬のアップはないということであり、この枠を越えた国民の歯科医療保健

を考えねばならない。こうした中、わが島村大参議院議員は誠に素晴らしい働きをいただいている。具体的には後日報告する。

自民党8020県議団、歯科医師会、連盟代表者による神奈川県歯科保健・医療推進研究会PTが立ち上がり、第1回打合せ会も9月25日開催された。年内にその方向をある程度決めるために、あと2回の会合を開催する。

厚労省の904億の基金（地域医療介護総合確保基金＝新たな財政支援制度）の各県への配分もおおむね決定し、神奈川県は26年度26.7億円となるようだ。ここから歯科により有利に配分されるよう働きかけをしていかなければならない段階に入り、歯科医師会・連盟の連携を持って日々努力をしている。

文責 富田 篤

富田県歯連盟会長が 県民功労賞を受賞

平成26年6月12日、県庁にて富田会長が県民功労賞を受賞され、この春に神奈川県議会副議長になられた小川久仁子県議（川崎市高津区選出）より花束贈呈の祝福を受けた。



参議院議員 石井みどり NEWS



参議院厚生労働委員長として、任期1年の職責を果たし、今後は、自民党副幹事長に就任し、谷垣幹事長を支える立場に移った。

【新役職】

自民党・副幹事長、参議院・自民党副幹事長、厚生労働部会 部会長代理内閣部会・副部長、厚生労働委員会・委員、行政監視委員会・筆頭理事、消費者問題にかんする特別委員会・理事

お知らせ

▶ 幹事・DM合同会議

日時 平成27年2月19日(木) 午後4:30～

▶ 時局講演会・デンタルミーティング in かながわ

日時 平成27年2月19日(木) 午後6:00～

演者 東京医科歯科大学 川淵孝一教授

場所 県歯会館